

株式会社食料新聞社
伝統食品業界アンケート

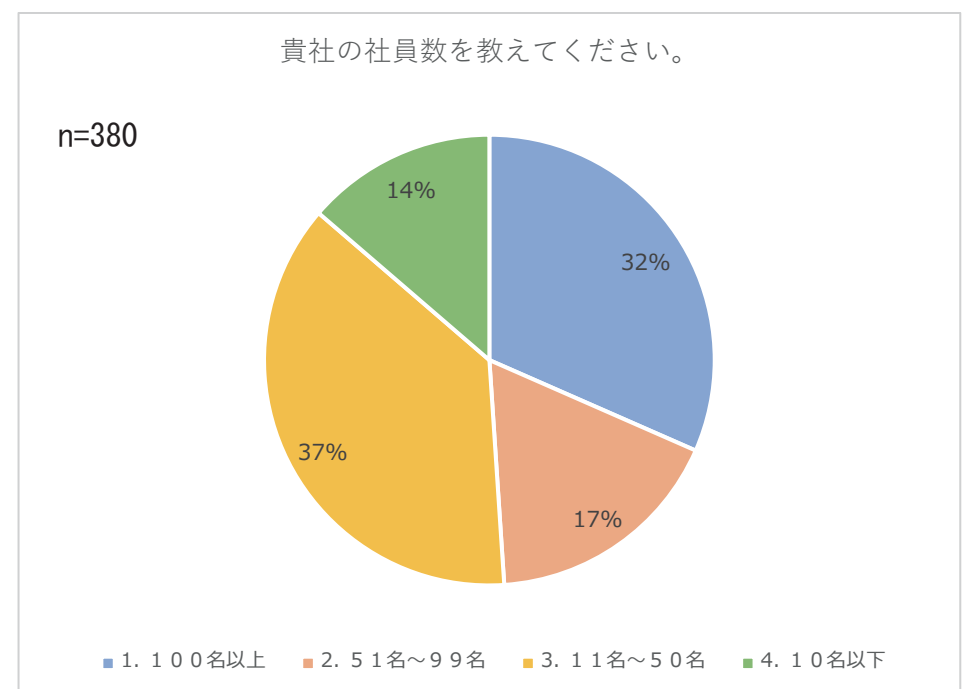
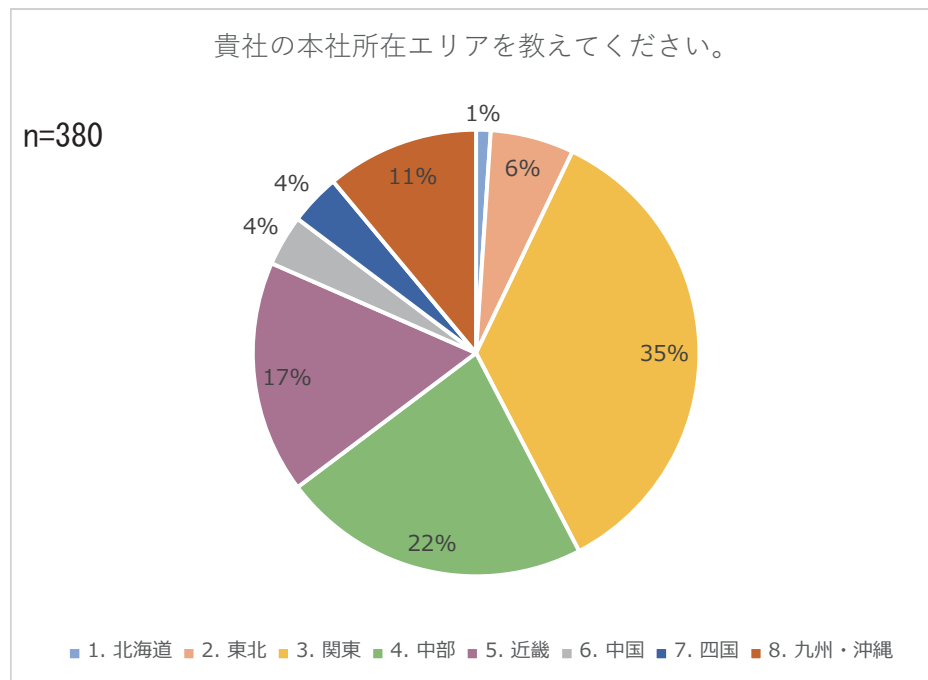
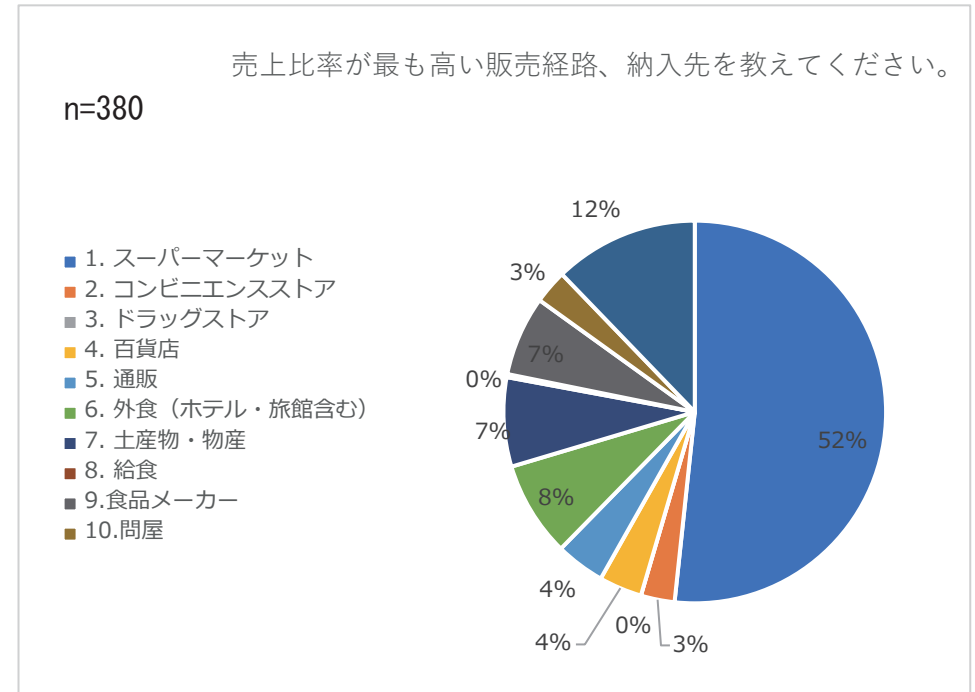
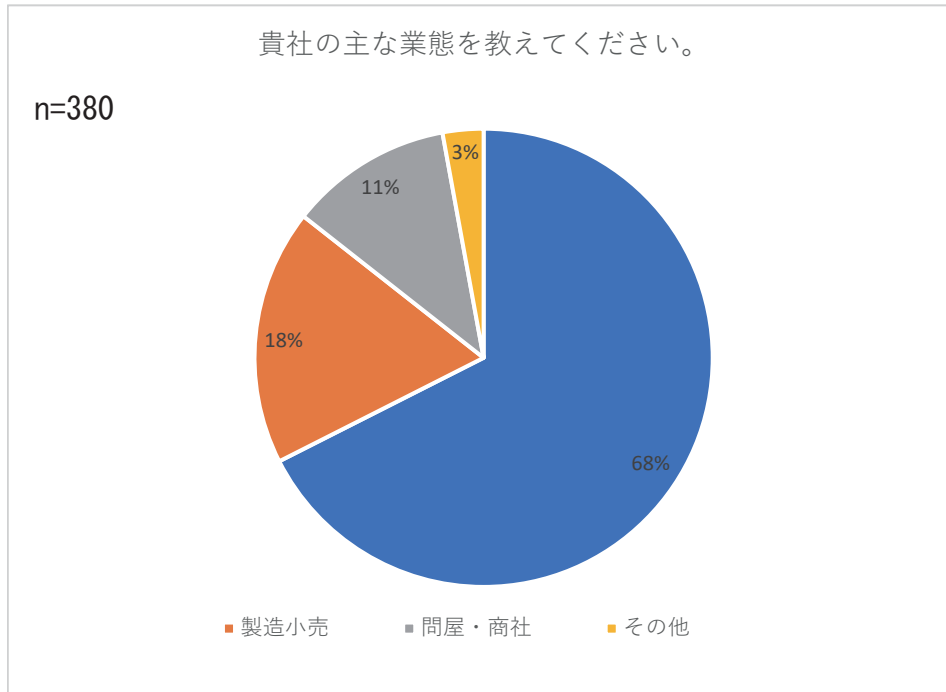
実施期間：5月25日（月）～5月29日（金）

調査方法：メールでアンケートURLを配信

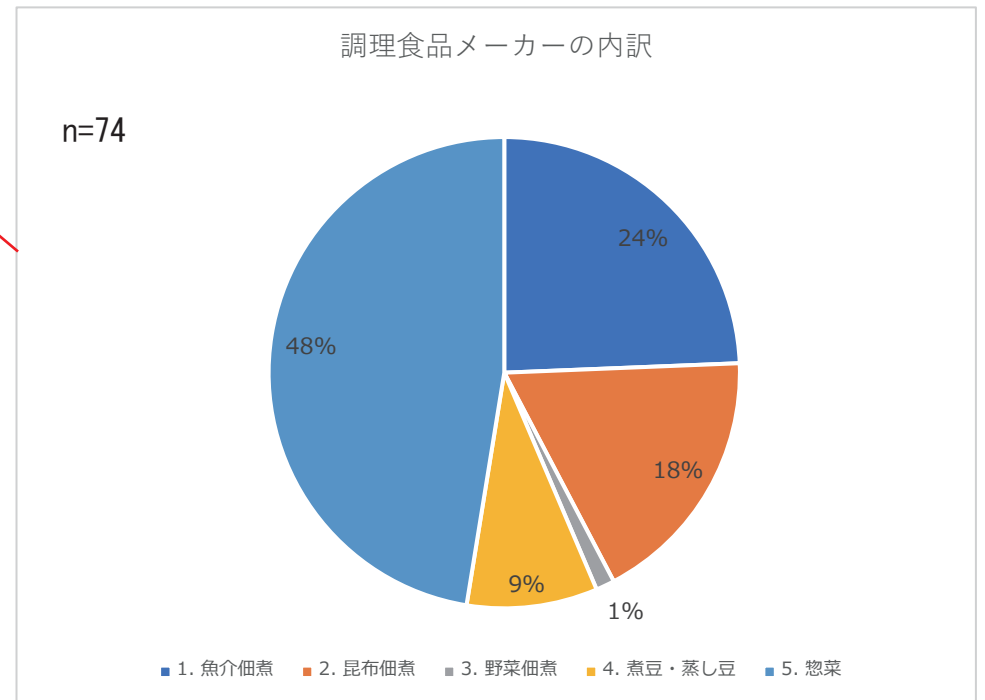
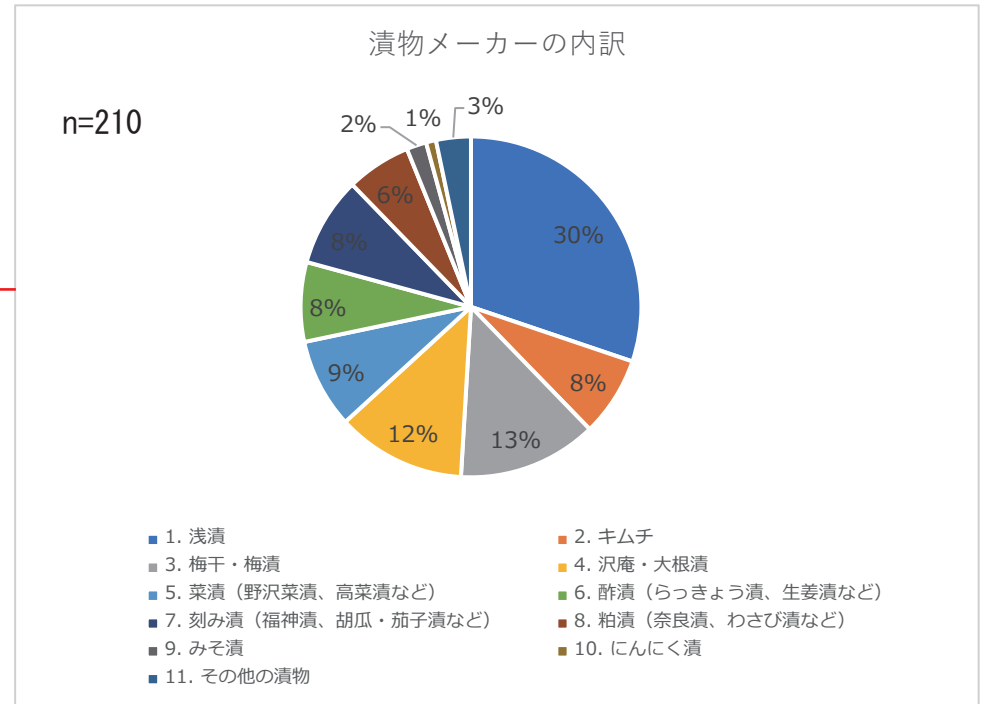
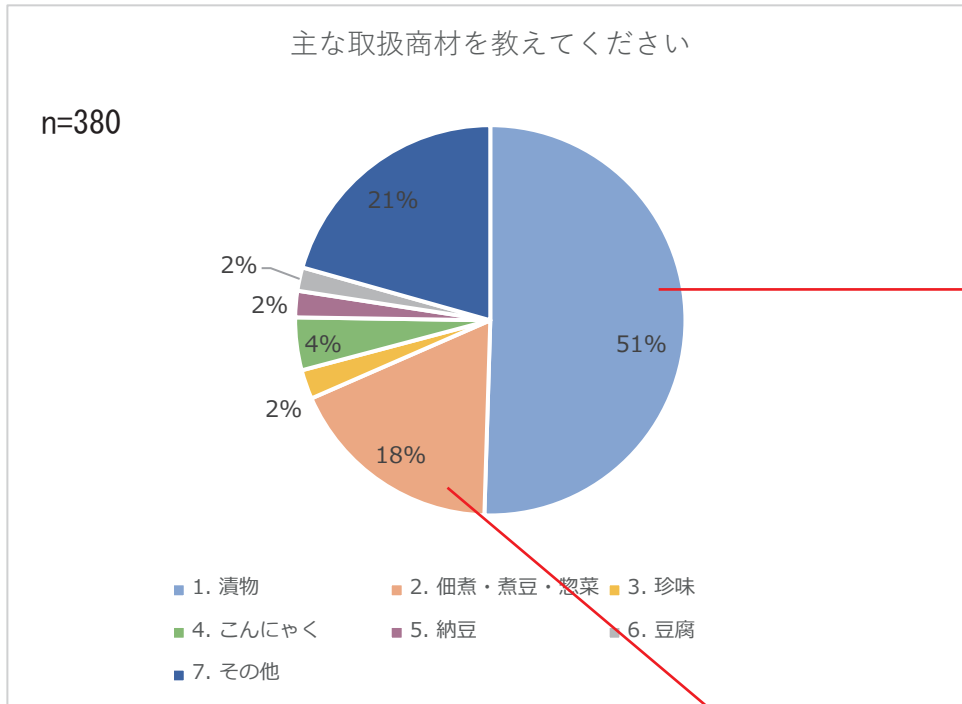
回答母数：380件（内訳は次項以降）

回答者の属性

アンケート回答者の属性



アンケート回答者の属性（取扱商材）

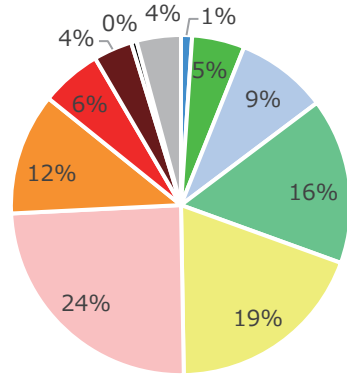


新型コロナウイルスの 影響・対策

新型コロナウイルスによる影響

今年4月の売上高は前年同月を「100」とすると、どの程度でしたか。

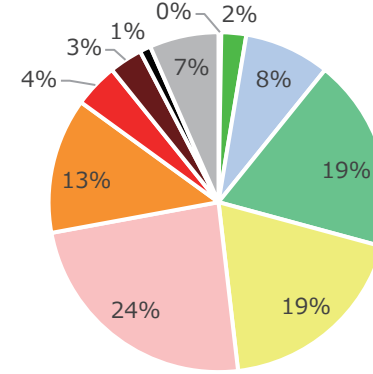
n=380



- ① 140以上
- ② 139~120
- ③ 119~110
- ④ 109~100
- ⑤ 99~90
- ⑥ 89~70
- ⑦ 69~50
- ⑧ 49~30
- ⑨ 29~10
- ⑩ 10未満
- ⑪ わからない

今年5月の売上高は前年同月を「100」とすると、どの程度の見込みですか。

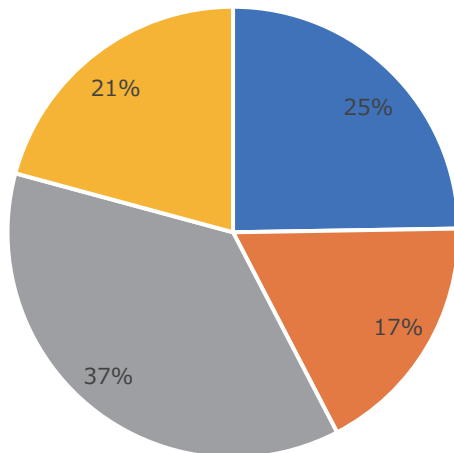
n=380



- ① 140以上
- ② 139~120
- ③ 119~110
- ④ 109~100
- ⑤ 99~90
- ⑥ 89~70
- ⑦ 69~50
- ⑧ 49~30
- ⑨ 29~10
- ⑩ 10未満
- ⑪ わからない

新型コロナウイルスに関する補助金の申請について。

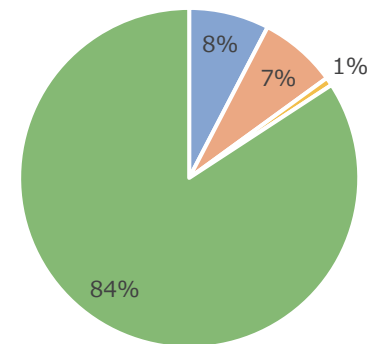
n=380



- 1. 既に申請済み
- 2. 今後、予定している
- 3. 今は予定していない
- 4. わからない

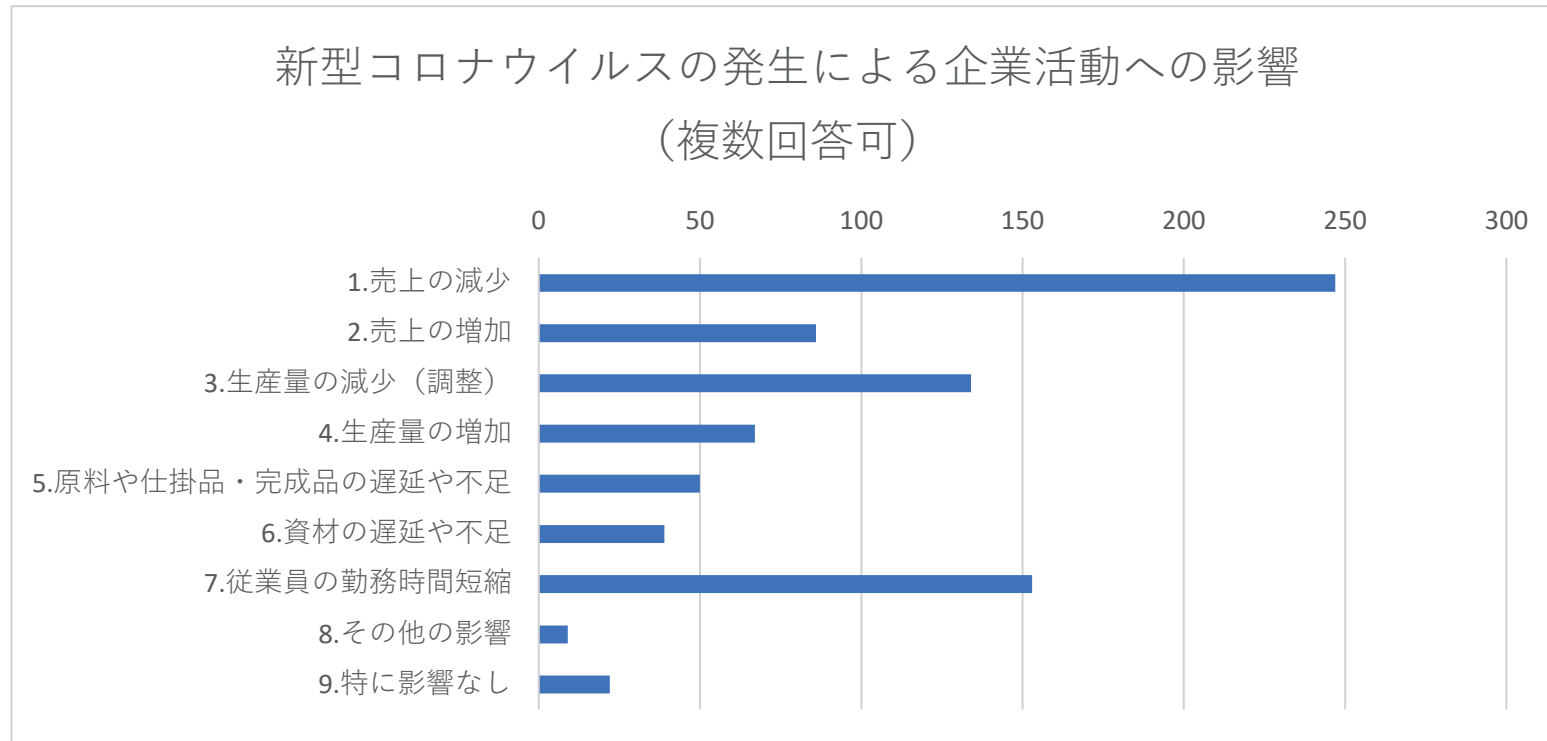
海外に生産拠点がある方にお聞きします。海外工場の稼働状況はいかがですか。

n=380



- 1. 影響なく稼働している
- 2. 休業していたが、既に稼働を再開している
- 3. 現在も休業している
- 4. 海外拠点は無い

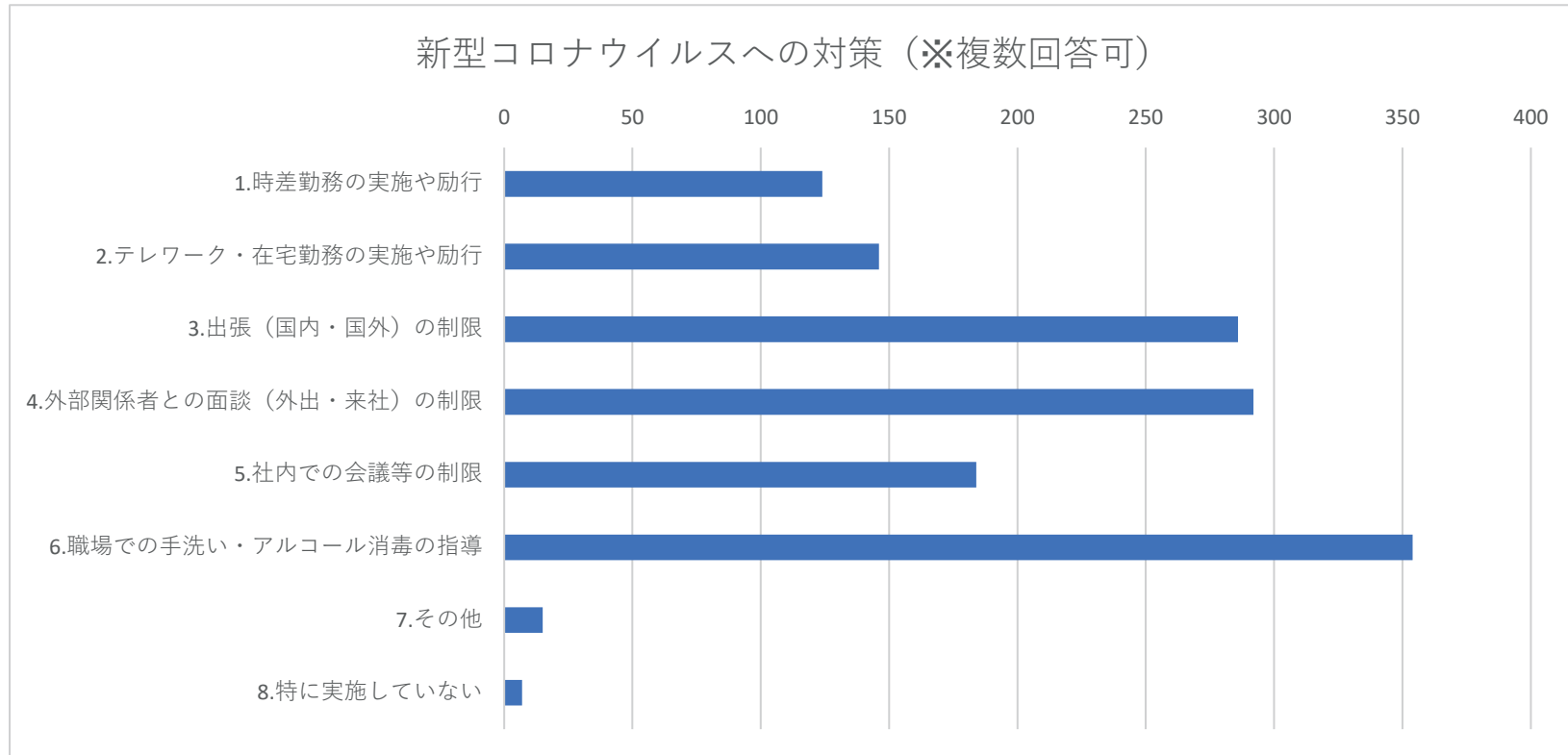
n=380



【その他の影響】の内容（一部）

- ・市販用は売上増ですが、外食向けが大幅に減少している
- ・原料野菜の異常なまでの高騰！
- ・業務用売上減、スーパー売上増
- ・外国人技能実習生が帰国できない。
- ・海外業務の中断、商品開発ペース鈍化
- ・詐欺の出現
- ・営業活動の休止、縮小
- ・従業員の残業

n=380

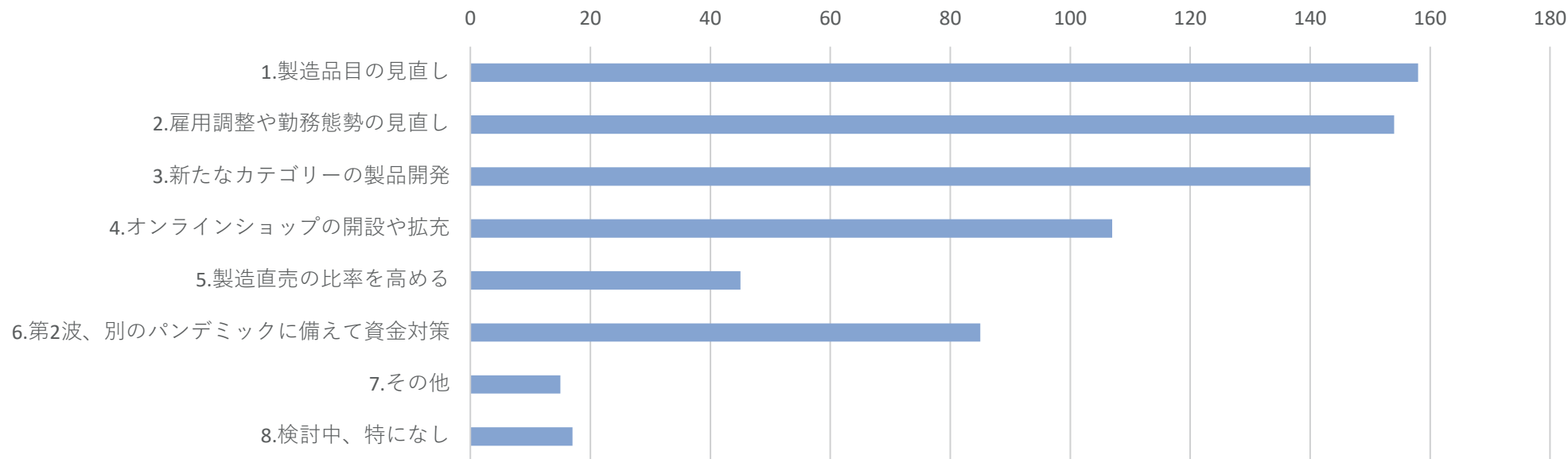


【その他の対策】の内容（一部）

- ・ 休業要請
- ・ 社内での三密場所の解消
- ・ マスクをとしての営業活動
- ・ 検温
- ・ 室内の除菌
- ・ 生活スタイルの見直し(睡眠、運動など)
- ・ 公共交通機関の利用禁止
- ・ 毎朝の健康チェック
- ・ 少しでも発熱がある場合は2周間の特別休暇、県外に行かざるを得ない従業員に関しては行った日から2周間の休暇要請。
- ・ 人員を減らしての業務縮小(3密防止策)
- ・ 各自車で昼食
- ・ 公共交通機関の利用禁止
- ・ テイクアウト販売

n=380

コロナ終息後を見据え、新たに新しく始められた取組みや今後始める予定の取組み



【その他】の内容（一部）

- ・ 新規販路の開拓
- ・ リモートワークの継続
- ・ 安心安全な商品の取り扱いを増やす
- ・ 欠品しない体制づくり
- ・ 社内備蓄の増強（マスク、アルコール等）
- ・ 現状のままで進めていくが、今後の影響で対応が変わる
- ・ SNSを用いてブランド構築作業を開始、商品提案用動画の作成、製造スタッフの多能工化
- ・ 輸入原料調達強化と、製品在庫確保のための計画的生産
- ・ 人材雇用
- ・ オンライン会議、商談の励行
- ・ 営業方法の見直し

現在困っていることや今後、期待する支援について（自由記述）①

- ・アルコール殺菌製剤がタイトになり、入手制限や価格が高騰するのではないかと不安。
- ・アルコール製剤商品が入手困難になりそうなこと
- ・お得意先の業種によって売上の不振が深刻であること（百貨店、業務筋）、with コロナ時代の生活スタイルや消費動向の模索
- ・コロナが終息して、普段の生活が出来る事を期待します。
- ・コロナの終息により、業務関係・観光産業の早期回復と経済立て直し支援強化
- ・コロナ禍以前の経済活動の復活
- ・デパートの販売が多く、今後試食販売や直接対話を通じた販売ができるか不安
- ・テレワークによる社内及び顧客とのコミュニケーションが課題である
- ・テレワークに移行したいが、難しい
- ・まだ見えていない原料調達
- ・一部の販売先不振
- ・運転資金の借入れに対する利子補填がされても、売り上げがどの程度戻るか不透明であり返済資源が見通せない為、不安である。
- ・営業活動が制限されているため売上の増加が見込めない、各都道府県への移動が自由にできて且つコロナに影響されない対策が不可欠、コロナの検査の自由化が必要、疑義がある場合の証明ができないことが問題、インフルエンザ並の検査対応が望まれる。体調重症化してからの検査では志村けんさんのように命を落とす危険があり、不安ばかり募ることになる。”
- ・家賃補助に関する助成の早期実施をお願いする。
- ・海外への物流が止まっており影響が出ている
- ・海外原料メーカーの生産や流通が滞っている状況で、輸入原料の一部が入手困難
- ・外食産業の支援、流通企業からメーカーへの先方都合の返品要請の違法性の周知
- ・感染しないよう予防策を業界全体で取り組む。
- ・休業要請協力金の適用範囲の拡大。
- ・業界・組合主導での販売方法など
- ・業界や組合で協力し合いオンライン販売など

現在困っていることや今後、期待する支援について（自由記述）②

- ・業務用（外食産業）が主体の為 落ち込みが大きく 50%近くまで売り上げが減少しています。しかし、持続化給付金は受けられません。もう少し間口を広げて戴きたいです。小規模 零細企業は ぎりぎりでの経営で困っています。経産省に働きかけて下さい。
- ・業務需要の回復
- ・原料野菜高騰により浅漬けを赤字でも出荷しなければならない状態は業界全体を上げて改善に向けて欲しい。スーパーマーケットは「野菜高騰の時期は浅漬けがお得です。」の理不尽な POP は使用しないで欲しい。上記な様な状況なので適合する補助金や助成金がない。我々の様な赤字でも出荷し続けた会社（売り上げは全年並み、利益はマイナス）にも補助金を適用して欲しい。
- ・現状は特別ないが、年末の雇用について感染予防対策をいかにするのか（おせち生産ライン）密接状態をいかに緩和させるか課題となっています。
- ・雇用調整助成金の支給の目途が付かない。
- ・今後ますます拡がりを見せそうな EC ビジネスに対し、国として事業を後押しするような政策を期待します。コロナ終息後、国内での消費を促していかなければこれから益々国内メーカーは海外へ販路を求めていかねばなりません。そうしなければ事業継続が難しくなっていくと思います。
- ・在宅勤務の増加で、従来の働き方に変化が出ていることに対応する必要があること。
- ・支援給付のスピードアップ。今現在はなんとかなっているが、次の流行を考えると給付が遅いのであれば事前に予備的に借り入れなどを検討しておく必要がある。スピードが速いなら予備的にする必要はないのだが。
- ・資金繰り
- ・事態が長期化した場合の資金繰り及び資金調達の算段
- ・自粛解除からの今後の営業活動の内容等。（コロナ禍以前の営業活動内容の変化）
- ・“ 首都圏の注文が無い為、早く再開し通常に戻ってほしい。電気代などの固定費の支援がほしい。”
- ・助成金まだか、第二次助成金きたいする
- ・将来の方向性
- ・生産の減少が予測される。
- ・“ 全くなくなってしまった観光をV字回復させるための支援 1）全戸に3万円の旅行券（金券）（お土産品購入券）の配布 2）高速道路料金一律1,000円を実施”
- ・早くコロナが収束し経済に活気が欲しい。
- ・贈答品の売り上げ動向が掴めず不安である。

現在困っていることや今後、期待する支援について（自由記述）③

- ・ 漬物マーケットの創造
- ・ 漬物組合や業界新聞などからの情報発信が少ないので成功事例や取り組みを発信してほしい
- ・ 定期貯金や保険等の解約もし、無利子で会社の固定費にあてる予定で、8月いっぱいくらいを見込んで●千万円お借りしました。しかし、先日予定納税金の支払額を見て唖然としました。お借りしたお金の半分以上が終わってしまいます。固定費の土地代金・テナント代金の支払い。そのほかの原材料の仕入れ品の支払いで、8月までもつかどうか心配なところです。
- ・ 当面、いつ正常に戻るか不透明の中創意工夫アイデアを生かし売上に結び付けて行ければと思っています。
- ・ 得意先との商談ができない。
- ・ 得意先への訪問がまだ制限されていること。
- ・ 日常で使うマスクは値段が下がって手に入りやすくなっているが、工場で使う一枚数円の簡易マスクは後回しになっているとのことなので今後は心配
- ・ 日本国内において、早々に人の移動が活発になることを切に願います。
- ・ 売り上げ高が20～30%減少した中小企業向けの対策がほとんどないので困る。返済不要の助成金など、固定費の補助にあたるものがあれば助かります。
- ・ 売上減少
- ・ 売上低下による資金繰り
- ・ 繁忙期を迎え、例年の如く欠品回避の為に原料を抱えている中で受注が激減し、製造出荷が抑えられてしまい、売上減退状態が2ヵ月続いている現状に頭を抱える。緊急事態制限の解除も目前だが、以前のような流れに戻るにはまだ時間が必要と考えている。このまま新型コロナの影響が続くようであれば、現状の雇用体制にも見直しが必要となる可能性も出てくる。厳しくも今は耐え抜くしか無い。
- ・ 販路の新規開拓の斡旋
- ・ 非常事態宣言全面解除されても直ぐには元に戻らないため、継続した国の支援が必要
- ・ 特になし
- ・ 末端の小売店（特に食事処）の早期回復